

[特集]ACP

将来の変化に備える

もしものときのために!

ACPってなあに?

もしものとき、あなたの希望は家族や医療従事者に伝わっていますか? 予期せぬ事態に備え、自分の意思を尊重した医療やケアを受けるために、ACPは大切な役割を果たします。最期まで充実した人生を送るため、将来に備えて今のうちからACPについて考えましょう。



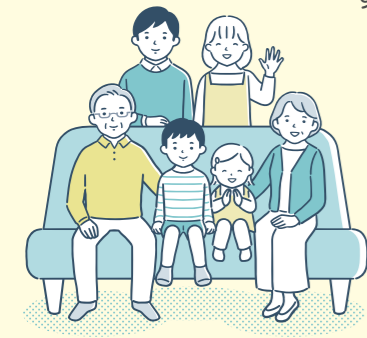
自分らしく生きていくために。自分の希望を考え、伝えましょう。

ACPとは

ACPとは「アドバンス・ケア・プランニング」のことで、病气や介護が必要になったときに備えて、本人が望む医療やケアについて話し合うことです。

なぜ事前に考えるのか?

本人が望む医療及びケアについて、その意思を確認できなくなるときがいつ訪れるのかを予測することは非常に困難です。もしものときに自分が希望する過ごし方ができるように、今から準備しておくことが大切です。



ACPのプロセス

STEP 1 自分の希望を考える
どんな治療を受けたいか、受けたくないか、どこで過ごしたいか、どう過ごしたいか、ゆっくり考えましょう。

STEP 2 代理人を決める
自分の意思が伝えられないとき、誰に代わりに決定してもらいたいかを決めておきます。

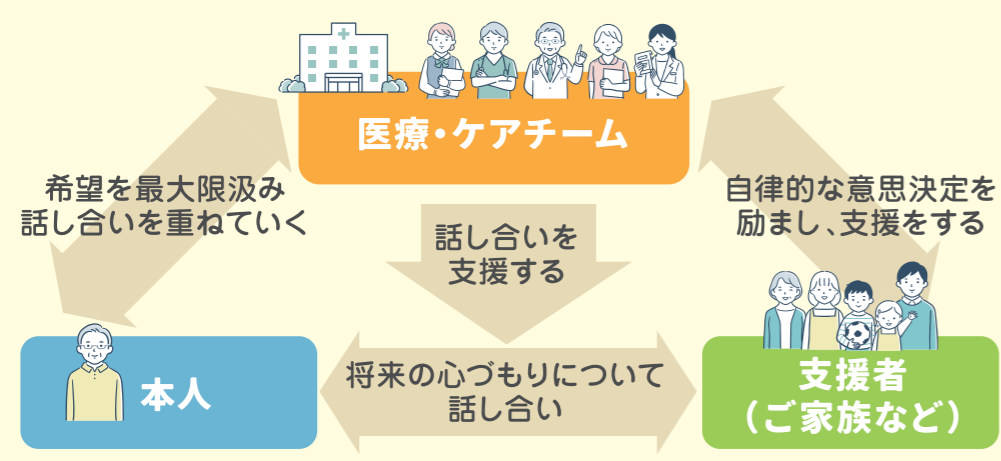
STEP 3 共有する
家族や医療従事者と話し合い、希望を伝えましょう。

希望は時間の経過とともに変化するものなので、変更も問題ありません。体調や病状の変化があったときなどに見直すことをおすすめします。



落合病院での取り組み

当院では、ご入院時にACPを確認し、対話を重ねながら、ご本人の希望にそった治療ができるよう、一緒に考えていく取り組みをすすめています。



地域での取り組み

真庭市では地域の医療関係者によって「マイライフノート」(真庭版エンディングノート)が作成され無料で配布されています。



もしものときに備え、自分の思いを伝えることが安心につながります。ACPを通じて、今できる準備から始めましょう! (監修: 麻酔科 池田翼)

出典: 真庭市HP (<https://www.city.maniwa.lg.jp/site/houkatu/25544.html>)